

第2回交通検討部会 開催報告

1. 開催目的

(1) 開催目的

- ・第2回交通検討部会では、次に示す開催目的のもとで、国立駅周辺の「まち歩きツアー」及び「意見交換」を行った。

■「歩行者（公共交通利用者）」の視点からの現況と課題の把握

- ・現在の国立駅周辺を「歩行者（公共交通利用者）」や「自転車利用者」の視点から再点検し、国立駅周辺の歩行者動線、歩行者空間、自転車動線に関する現況と課題を改めて把握する。

(2) 「まち歩きツアー」における調査の視点

- ・「まち歩きツアー」では、次に示す3つの視点から調査を行った。

- ①人の動線： 人がスムーズの動けるのか、動けないのか、など
- ②歩行者がいる空間： 賑わいや安らぎの感じられる場所はどこか、など
- ③公共交通の利用： 公共交通を安全かつ快適に利用できるのか、など

2. 開催概要

【開催日時】平成22年11月14日（日）13：15～17：00

【開催場所】国立市商業協同組合さくらホール（大ホール）ほか

【当日のスケジュール】

13：15～ 開会・オリエンテーション

13：30～ まち歩きツアー

15：20～ 意見交換（つぶやきメモの記入、つぶやきマップの作成、グループ毎の発表）

17：00～ 閉会

3. 開催内容

(1) まち歩きツアー

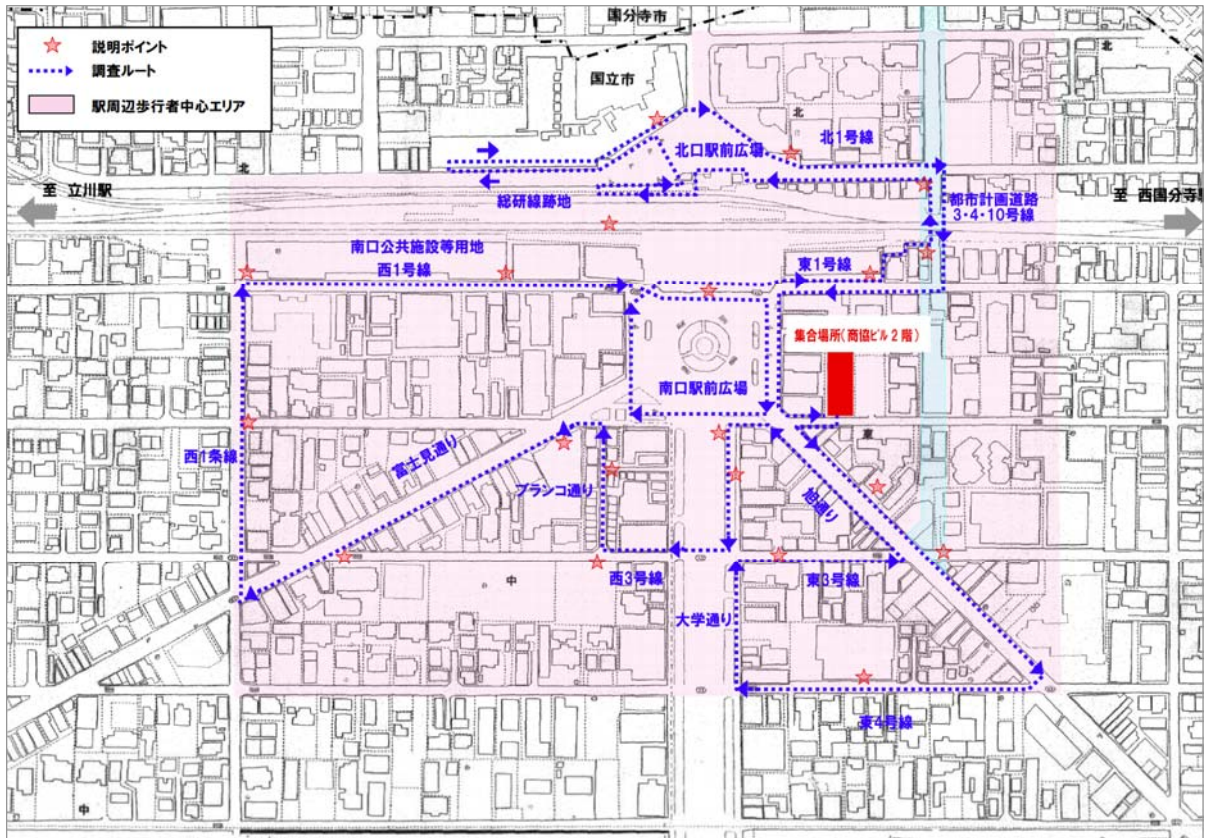
- ・2グループに分かれ、通勤・通学、日常の買い物の場等として日常的に利用している国立駅周辺を「歩く」という視点から改めて観察し、これまでとは異なる角度から国立駅周辺を眺めて頂いた。
- ・まち歩きツアーでは、参加者が個人で調査するだけでなく、自転車の通行状態や以前発生した交差点の事故などを話題に対策案について議論する場面も見られた。



・まち歩きツアーの様子

【まち歩きツアーの対象施設（次頁図参照）】

- ・国立駅周辺における「歩行者を中心としたエリア」（＝市民や来訪者の交流による賑わいの空間や人にやさしい、安全で安心な環境づくりが望まれるエリア）を中心にまち歩きツアーを行った。



まち歩きルート図

(2) 意見交換

- ・まち歩きツアーの後、3グループに分かれて、意見交換を行った。まち歩きツアーの最中に参加者の皆さんが感じたこと、気づいたことについて、「つぶやきメモ」を各自作成し、各グループで「つぶやきマップ」に取りまとめた。
- ・グループの意見発表では、現状の良いと思う箇所や不快を感じる箇所だけの指摘に留まらず、計画に対する提案も出された。



・グループの意見発表の様子

【グループ1】

■グループメンバー ※ () 内の方は、まち歩きツアーのみ参加

参加者： 新井和雄さん、原田弘司さん、金井一夫さん、澤登敬子さん、
榊原茂子さん、(石塚陽一さん、吉田さん)

進行役： 事務局・作業班 (門倉、加藤)

■グループの主な意見 (発表者：新井さん)

- ・大学通り、駅前広場など、魅力ある資源は、まちづくりで有効活用すべきだと思う。
- ・富士見通り、旭通りだけでなく、駅前周辺の道路は歩道が狭く危険である。
- ・旭通りから都市計画道路3・4・10号線へ左折する際の角度が鋭角であるため、大型車両やバスが左折することが困難ではないか。
- ・東1号線を車両通行止めにした場合、大学通りから旭通りを通過し、都市計画道路3・4・10号線に流入するZ型の通行形態となるため自動車の利便性が低下すると思う。
- ・北口駅前広場は、現在車と人が交錯しているため、車の動線だけでなく、人の動線にも配慮した計画づくりが必要だと思う。
- ・総研線跡地には歩道機能だけでなく、緑のある空間整備を行いたい。



【グループ2】

■グループメンバー

参加者： 高田啓子さん、関武彦さん、笠井恵さん、阿部さん、木島常明さん、
原田ひろのりさん

進行役： 事務局・作業班（中島、坂詰）

■グループの主な意見（発表者：高田啓子さん、原田ひろのりさん）

- ・都市計画 3・4・10 号線を整備すると旭通りの車両が増えるため、安全対策が必要だ。
- ・都市計画道路 3・4・10 号線には自転車道を整備したほうが良い。
- ・駅から離れた場所に駐輪場を整備することで、駅まで歩く環境ができるため、利用者の健康増進に繋がると思う。
- ・南口駅前広場から通過交通を排除するためには、国立駅を取り巻く外周道路の通行形態を見直す必要があると思う。
- ・鉄道高架沿いの北側にある空き地は、赤ちょうちんの飲み屋など、賑わいのある歩行空間としたい。
- ・鉄道高架沿いの南側にある空き地は、新たに整備される駅前広場や高架下空間と併せて、おしゃれな歩行空間としたい。
- ・北口駅前広場ではバスと歩行者が交錯しているため、バスベイと歩行者空間を分けた方が良くと思う。
- ・北口駅前からバスバースを無くし、他の場所に移動することができないか。



【グループ3】

■グループメンバー

参加者： 関堅さん、甲斐恒人さん、木島香織さん、五島宏さん、重松朋宏さん、
矢光新さん

進行役： 事務局・作業班（吉谷、新堀）

■グループの主な意見（発表者：五島宏さん）

- ・富士見通りの西友前などの歩道では、多くの自転車が駐輪しており、歩行しにくい。
- ・富士見通りや旭通りは歩道が狭いが、自転車の通行が通行するため、危険である。
- ・西1条線と富士見通りの交差点の島状のスペースをミニロータリーにできないか。
- ・ブランコ通りなど、雑多な雰囲気のある空間が、他にも2~3箇所あっても良い。
- ・円形広場に入り、休憩などすることができないのか。
- ・東1号線の建物の間にある狭い歩行空間は、起伏があって面白い空間であるため、残すことができないか。
- ・北口駅前広場の横断歩道が長く、歩行者にとって危険ではないか。
- ・北口駅前広場はバス停の位置が多くわかりにくい。
- ・現在の交通量のデータがないと、現在の車の主要な動線などが分からないため、データを出して欲しい。



4. 成果の活用方向

- ・次に示す検討の材料として活用する。

■歩行者・自転車動線の検討の材料

- ・「まち歩きツアー」で把握した「歩行者（公共交通利用者）」や「自転車利用者」の視点からの現況と課題は、駅周辺まちづくりにおける歩行者・自転車動線の検討や具体の空間整備の材料として活用する。

■南北駅前広場における交通施設や歩行者空間（環境空間）整備の検討材料

- ・基本設計における交通施設や歩行者空間（環境空間）の配置、駅前広場内での動線の考え方、さらには、整備後のサイン表示など、具体の駅前広場の設計に活用する。